

嵐の活動休止をファンはどのように受けとめたのか ——喪失体験と熱狂のメカニズムに関する聞き取り 調査

アイドルを応援している以上避けられないのが、メンバーの脱退や活動休止、解散である。昨今ではファン対象を失い、喪失体験からファンが悲しみや喪失感を感じることを「ロス」という言葉で表されることが増えてきた。本論文では、アイドルグループ嵐の「活動休止」に着目し、活動休止の受け止め方や、応援の熱量など喪失体験と熱狂のメカニズムに関する聞き取り調査からファン行動の変化とその要因について検討した。2004年に小城英子が発表した『ファン心理の構造（1）ファン心理とファン行動の分類』では、もっとも好きなタレントやアーティストをファン対象とし、ファン心理とファン行動を分類することを目的とした。しかし、この研究ではファン対象や調査対象者の年齢や性別も様々である。そこで本研究では、活動休止による喪失体験を経験した『嵐ファン』を対象に研究を行い、活動休止発表から休止中にかけてのファン行動の変化とその要因について明らかにすることを目的とした。

この調査から、A、Bともに活動休止発表から活動休止期間にかけて4つの心理的要因が組み合わさり、ファン行動が減退していることが明らかになった。また、ファンによって個人の好みや興味が異なることから、喪失体験による熱狂のメカニズムは個別的であると考察した。